

広報

第60号



日大山形

平成26年4月26日発行

青春を今、

始めよう



1年生応援練習

心を一つに

平成二十六年 入学式



寒さが残り雪もちらつく平成二十六年四月六日、今年度から日本大学山形高等学校に新たに加わる四二七名の入学式が盛大に挙行された。国歌斉唱の式辞が続き、校長の式辞が希望に満ち溢れた新入生に送られた。

大塚吉兵衛学長の代理として入学式に出席された、通信教育部長福田弥夫先生から、「より高いところの可能性を求めてもらいたい」という言葉を新入生にいただき、この三年間で広い視野を持ち臆することなく挑戦することの大切さを諭された。また、新入生代表の粟野光代さん(上山南中)からは、多くの仲間と切磋琢磨しながら成長していき、さまざまな困難を乗り越えていく」とこれからの学校生活で大きな成長を予感させる力強い言葉で挨拶が行われた。記念品授与では後藤瞭太君(陵南中)が新入生代表として登壇し、記念品を受け取った。



日本大学学長代理 通信教育部長 福田弥夫

〈学校長式辞〉
寒さで小さく静まっていた生気も少しずつ動きだし、若草が土塊を押し上げ、若木も老樹も芽が張り、どこもかしこも次第に生気が満ち溢れる春。本日このよき日、平成二十六年度日本大学山形高等学校入学式を挙げるにあたり、日本大学通信教育部長、福田弥夫先生をお迎えし、桜華同窓会会長、安堵俊雄殿、そして前校長の近藤博七先生をはじめ、ご来賓、ならびに役員各位のご臨席を賜り、また、保護者の皆様のご列席をいただきましましたことは、私どもにとりまして、この上ない喜びでございます。教職員を代表して、心より御礼申し上げます。

さて、四二七名の新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。皆さんは、本校の厳しい入学試験において、学業・人物ともに優秀と認められ、多くの志願者の中から選ばれて入学されました。皆さん一人ひとりの今日までの努力を讃えるとともに、お祝いを申しあげて、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

先ほど、式場に入場してくる皆さんの姿は、今日からはじまる高校生活への期待に胸を膨らませ



学校長 中村 薫

充実した気持ちでその姿に表れ輝いて見えませんでした。日本大学は、時の司法大臣であった山田顕義伯爵によって、明治二十二年、日本法律学校として創立され、今日、我が国最大の総合大学へと発展し、力強い歩みが続けています。

本校は、昭和三十三年に山形学園山形第一高等学校と創設され、昭和三十七年に日本大学の付属高校となり、日本大学の教育の理念と目的である『自主創造』に基づき、高等学校創設五十有余年を迎えました。その間、三万五千九百余名を越える優秀な卒業生を輩出し、「日大山形」のゆるぎない伝統を築き上げて参りました。

この伝統を引き継ぐ私たちは、恵まれた環境のもと、これまで以上に教育の「質の向上」をめざすべきものと考えます。教職員各自が自己研鑽に励み、皆さんと一緒に成長できる学校づくりを更に進めていきたいと考えております。

「論語」に「吾十有五にして学に志す。」とあります。晩年の孔子が、生涯

を振り返って、学問を志して以後の自己の思想・人格形成過程を述べたものです。私は十五歳で学問を修めようと思いをたてた。」と言っています。また、石川啄木は「来ず方のお城の草に 寝ころびて空に吸われし 十五の心」と歌っています。旧制盛岡中学校の生徒のころ、恋と文学に夢中だった啄木がのちに回想した一首です。春の高い空は、少年の不安や焦燥や野心をゆったりと吸い込んでくれるのです。そこに啄木の大きな志が見えます。今の皆さんの姿と重なります。本校の校歌にも「ボーイズ、ビー、アンビシャス」とあり、アンビシャス(野心)の、特に高校の三年間はこれからの人生を形成する上で大きな意味をもちます。この三年間を如何に生活するか一人ひとりの大きな志にかかっています。

また、「論語」の話になりますが、ある時、子貢が孔子に「ただの一言で生涯守ってゆけるものがありました。孔子は「それは『恕』だろう。おもいやりの心で他人の心を推しはかり、自分がされたくないことは、他人には決してしないことだ。」と説きます。——己の欲せざるところは、人に施すなかれ——

本校には、情熱あふれる誠実な、真心を持った先生と、心優しい先輩が待つて

います。どうか一日も早く本校の生活になじみ、自分を大切に、人をおもいやり、互いに切磋琢磨できる明るく楽しい学校生活を過ごしてください。

次に保護者の皆様に申し上げます。私も教職員一同は、ご列席の保護者の皆様に対しまして、これまでのご労苦をねぎらい申しあげ、併せて限りの可能性に富む新入生の入学を心から祝福し、歓迎いたします。そして、本校の総力を結集して、教育成果を最大限に高めたいと決意を新たにしております。

しかし、教育の成果は学校の努力のみでは達成できません。教育は、家庭教育がまず、第一歩とも言えます。基本的な生活習慣、「躰」は、しっかりとお願いしたいと思っております。保護者の皆様におかれましては、本校の教育方針をご理解いただき、密接な連携を保ちながら、積極的なご支援ご協力をお願いしますようお願い申し上げます。

新入生のみならず、あらためてご入学おめでとうございませう。勉学に、学級活動に、そしてクラブ活動や生徒会活動を、大いに楽しみ、有意義に過ごし、大いに躍進されることを願っております。そして、本校で学んだ時間が皆さんの人生の中で最も輝いたものになることを心から期待して、式辞といたします。



担任の先生を先頭に入場

◆学年付	
青木	大和(保体)
渡邊	亮一(理科)
吉田	貴行(理科)
森岡	雅人(地・公)
中村	寿一(書道)
野口	敏広(地歴)
十組	忠義(数学)
九組	近野 仁美(国語)
八組	木村祐太郎(数学)
七組	鈴木 正明(国語)
六組	齊藤 健音(情報)
五組	酒井 幹夫(英語)
四組	酒井 徹(英語)
三組	奥山 秀則(国語)
二組	村田 亨(保体)
一組	矢作 直樹(数学)
副主任	若木 健一(英語)
主任	澁井 徹(英語)
阿部	亮子(国語)
岡崎	雪絵(国語)
澁谷	直樹(地歴)
穂積	武朋(数学)
丸子	歩実(数学)
鴉浦	悦子(理科)
半田美由紀	(英語)
木村 恵李	(英語)
齋藤真理子	(英語)
仲島 達也	(保体)
加藤 明香	(保体)
稲村 良平	(保体)

平成二十五年 度 高等 学 校 卒 業 式

平成二十六年三月一日、本校第一体育館にて平成二十五年度卒業式が挙行された。暖かな日差しの中に春の足音が聞こえてくるこのよき日、卒業生たちはそれぞれの思いを胸に最後の式典に臨んだ。三年間で大きく成長した彼らは、大きな夢に向かい次なるステージへと旅立った。

受 賞 者

一、学長賞(学業部門)

吉川美由紀(台北A.S.中)

二、学長賞(体育部門)

浅沼 孝紀(山形十中)
佐々木 友(天童一中)

三、優秀賞

(学術・文化部門)

放送部

四、優等賞

吉川美由紀(台北A.S.中)
新野 紘平(蔵王一中)
山元 彩可(山大附中)
赤羽 未帆(山大附中)
伊藤 朱里(尾花沢中)

五、皆勤賞

五四名

六、精勤賞

一二四名

七、学校長賞 五四名

八、大久保・矢野賞

(1)努力賞

浅沼 孝紀(山形十中)
小林 聡華(中山中)
柴田奈々恵(山形五中)
志藤 滯(山形一中)
美濃谷沙季(中山中)
布川 桃子(日大山形中)
坂部 亮磨(山大附中)

井汲 晴香(山大附中)
小野 詩織(尾花沢中)
石山 拓海(東根二中)
石黒 理帆(高楯中)
後藤 優奈(陵南中)
鈴木 陽也(日大山形中)
生徒会長
新田 飛鳥(日大山形中)

総務員
村井 勇斗(湊川中)
鈴木公未江(日大山形中)

田中 菜月(日大山形中)
総務員・団長
幸田健一郎(天童一中)

代議員議長
笹壁 詩織(山形三中)

代議員副議長
庄司 萌乃(天童三中)

山元 彩可(山大附中)

学級委員長
青山 高大(山形七中)

HR運営委員長
山口 明恭(日大山形中)

保体委員長
富塚 有貴(山形六中)

環境整備委員長
平井 智大(蔵王一中)

図書委員長
古瀬 耕平(日大山形中)

女子部専門委員長
藤井 沙羅(天童三中)

応援委員長
野川 和希(天童四中)

運動部部長
三部 諒太(山形七中)

(3)体育賞
野球部
奥村 展征(湖南甲西中)

柔道部
森谷 翔悟(東根一中)

バドミントン部
稲田 雄介(山形五中)

陸上競技部
東海林和輝(天童一中)

男子バスケットボール部
田斎 裕久(宮内中)

ボクシング部
井汲 晴香(山大附中)

剣道部
佐藤 俊喜(山形六中)

サッカー部
菊池 直哉(陵西中)

男子バレーボール部
和田 広大(山形八中)

水泳部
高橋 修一(山形二中)

スキー部
沖野 直斗(日大山形中)

男子ソフトテニス部
多田 健佑(山辺中)

男子テニス部
鈴木 陽也(日大山形中)

男子ハンドボール部
高梨 義規(山形四中)

卓球部
工藤 和樹(山形四中)

ラグビーフットボール部
菊地 康大(大江中)

少林寺拳法部
三部 諒太(山形七中)

ゴルフ部
今野 一成(山大附中)

女子バレーボール部
三井 晴香(山形五中)

女子ソフトテニス部
山口ゆきえ(山形四中)

女子テニス部
田中 優希(金井中)

女子ハンドボール部
志藤 滯(山形一中)

女子バスケットボール部
菅田ひかり(陵南中)

(4)文化賞
生物部
奥山 智博(東根二中)

化学部
幸田健一郎(天童一中)

英会話部
山本あい架乃(日大山形中)

美術部
多勢 恵(新庄中)

書道部
山本理紗子(山形三中)

音楽部
尾崎 龍司(玉野中)

吹奏楽部
阿部 優華(山形三中)

華道部
齊藤 夏帆(山形八中)

演劇部
都市由希野(新庄中)

写真部
遠藤 千波(山形五中)

放送部
柏倉 歩(天童三中)

ダンスドリル部
太田はるか(山形十中)

JRC部
太田 恭平(山形六中)

九、栄光のメダル
(1)金メダル
野球部 二九名

(2)銀メダル
水泳部 四名

新体操
(3)銅メダル
ボクシング部 一一名

サッカー部 七名
男子バレーボール部

水泳部 三名
男子テニス部 五名

ラグビーフットボール部 二名
少林寺拳法部 一名

ゴルフ部 二名
女子テニス部 三名

女子ハンドボール部 五名
(4)文化賞メダル
放送部 一名

ダンスドリル部 七名
十、学外賞
(1)日本私立中高連
理事長賞
新田 飛鳥(日大山中)

(2)日本学生野球協会賞
奥村 展征(湖南甲西中)



表彰を受ける卒業生

学び舎との別れを惜しむ 中学校卒業式・閉校式

三月十五日、本校最後の卒業生となる女子八名、男子九名の計十七名が義務教育を終え、本校から巣立った。式には日大山形高校に在籍する本校の同窓生も参列し、新たな門出を祝した。

厳肅な中で学校長から一人ひとりが卒業証書を授与され、緊張の中にも自信やこれから始まるで



最後の卒業生

謝します。多くの方々の支えや励ましがあ

あろう高校生活への期待が感じられた。卒業生総代として清野結友子生徒会会長が、「いつも生徒を一番に考えてくださり、愛情をもって接してくださった先生方を自慢に思っています。どんな時も真面目から大きな愛情で包んでくれた家族にも感謝します。



「卒業の言葉」 清野結友子さん

たい特別な三年間でした。」と学校行事の思い出、家族・先生方への感謝の気持ち、そして、これから歩む人生への決意を述べ「卒業の言葉」として、式終了後には、限られた時間の中で練習を重ねた「歌と呼びかけ」の披露があった。三年間で大きく成長した我が子の姿に、感激し涙する保護者の姿も多く見られた。卒業生の晴れやかな表情が光る卒業式となった。

れた。四半世紀にわたる特色ある教育活動をたたえ、閉校を惜しむ声が寄せられた。本年度卒業生の代表として梅津祥全生徒会副会長が「日本大学山形中学校がなくなっても、この校舎で過ごした日々は、決して色あせることなくいつまでも私たちの心に残り、母校として存在し続けます。」と挨拶を述べた。一つひとつの言葉をかみしめるように「閉校への思い」を述べていた様子が印象的であった。



同窓生の集合写真



閉校式卒業生代表挨拶 梅津祥全君



閉校記念品「タペストリ」

同日、閉校式が多くの来賓・同窓生・本校教職員の前で行われ、多くの卒業生が参加した。式では、本校の教育活動にご理解・ご支援・ご協力いただいた方々に深く感謝の意を表する次第である。

二十五年間にわたり、本校の教育活動にご理解・ご支援・ご協力いただいた方々に深く感謝の意を表する次第である。

「新校長の挨拶」



「思いやり」そして「切磋琢磨」

第十四代校長 中村 薫

学校生活の基本は「学習」すること、生徒も教師も常に自分を高めることにあります。「学」という漢字は、屋根のある建物で師から弟子が知識を授けられる様子を表し、「習」は鳥が二枚の羽を何度も羽ばたく姿を表しています。菓立ちの雛が懸命に飛び方を習得するため、羽を動かし習うのです。学習は繰り返し、繰り返し学び習うことです。

また、「学級・生徒会・部活動」と仲間と語り、競い、励まし合い、そして高校生活を大いに楽しむこととです。そのとき大切なことは、常に相手に対して「思いやり」を忘れないことです。「人」の「憂い」がわかる人は「優しい」人。「優しい」人は「優れた」人でもあるのです。「思いやり」とは、人が何を感ず、何を思い、何を欲しているかを想像できる心のことで、自分がされて嫌なことは決して人にはしないことです。漢学者の伊藤仁斎の言葉に「仁者は常に人の是非を見る。不仁者は常に人の非を見る」とあります。徳のある人は、いつも他人のよい点を見て自分の向上をはかるが、つまらない人物は、いつも他人の欠点ばかりを見ようとするのです。

東碧梧桐は明治六年に、高浜虚子は七年に愛媛県松山市に生まれ、明治二十一年に同じ中学校の同じクラスで学ぶことになりました。冗談も言わない真面目な虚子、喧嘩が強いガキ大将の碧梧桐、何故か気が合い大親友になります。二人は正岡子規に師事し、俳句は勿論、野球など様々なことを学びます。京都の三高に進んだ二人は同居生活をしながら、文学に、遊びに夢中になります。

明治二十七年、共に文学を一生の仕事にと退学し、東京の子規を訪ね、「碧梧桐は冷ややかなること水の如く、虚子は熱きこと火の如し」と評され、子規の俳句革新の両輪のような存在になります。子規の死後、虚子は「ホトトギス」を継ぎ、主に小説の道を歩きます。日本新聞の「俳句欄」を継いだ碧梧桐は次第に作風が季語と形式を破る、新傾向俳句に走ります。我慢ならなくなつた虚子は、碧梧桐に対抗すべく再び俳句に戻り守旧派として伝統俳句を守ろうとします。激しい対立。二人の俳句は完全に別の道を行くことになるのです。

平成25年度 合格 状 況

() 内の数字は過年度生で内数

Table with 5 columns listing university admissions: 日本大学 (194/2名), 国公立大学・短期大学 (36/14名), 日本大学以外の私立大学・短期大学 (241/71名).

◇専門学校 65名
山形市立病院済生館高等看護学院/国立病院機構山形病院附属看護学校/山形厚生看護学校など医療系28名合格

◇就職 27名
公務員14名
自衛官曹候補生(4)/自衛官候補生(10)
一般企業13名
読売巨人軍/㈱一栗荘湯坊いちらく/㈱カメラの石山/丸東商事/㈱山形富士/日米商事/小川建設/社会福祉法人みゆき福祉会/㈱山形パッケージセンター/㈱エイアンドシー/㈱柴田建設/山形ドルフィンクラブ/久米井歯科医院

『第14回ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ 付属高校生のイースター・プログラム』

三月十六日(四月二日、恒例の語学研修が行われた。本校はじめ各付属高校から計七十二名が充実した研修を行った。英語での授業の他、郊外への遠足あり、ロンドン見学ありと楽しい経験だった。

『研修を通して 学んだこと』

2年 工藤かえで (日大山形中)

不安と緊張の中イギリスへと旅立ち、初めに感じたのは私の英語力の少なさです。中学校を卒業してから英語を話す機会が減り、英語を話すことに消極的になっていました。

しかし、授業や現地の大學生によるアクティビティを通して、英語と積極的に関わることができ自信ができました。先生方との会話を長く続けられるようになり話すことが楽しい、また、伝わるのが嬉しいと思います。

この研修を通して私は、積極的に英語を話すことの大切さを学びました。この経験を生かして英語の学習を更に一生懸命に取り組む、英語力をもっと身につけたいと思います。

『語学の橋を超えて』

2年 鈴木 吉輝 (山形一中)

今回のケンブリッジ・イースタープログラムを終えて一番感じたことは、英会話力が向上したこととネイティブスピーカーとの会話のスピードの速さでした。普段日本で聞いた話したりする英語とは違って、とても速く何度か聞き返したこともあり、会話の速度に慣れる練習が必要だと痛感しました。

また、研修では架空の記事を作って発表したり、美術館に行き作品についてプレゼンテーションをしたのも楽しい思い出です。ただ、食事は味が複雑で慣れるのに大変でした。全体を通して授業後に楽しいアクティビティがあり、英語を話す機会が増えたのでとてもいい経験ができて嬉しかったです。

『研修を終えて』

2年 高橋 匡衛 (鮭川中)

正直言って、イギリスに着いた当初は現地の人が話している言葉が全くわかりませんでした。発音だけでなく、速さにも驚き何も聞き取れず泣きそうになりました。



キングスカレッジの校舎前にて
左から工藤さん、高橋君、鈴木君

新任教職員紹介

江口 善紀 教頭 (保健体育)



四月一日付けで本校に着任し「文武両道」の校風に触れ、身の引き締まる思いであります。私は新人の頃に先輩教師から「師弟同行」の言葉をいただきました。生徒の成長とともに教師も向上する努力の大切さを、これからも継続していきたくと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

岡崎 雪絵 先生 (国語)



伝統と歴史ある日大山形で勤務できることを嬉しく思います。高校三年間は沢山のことを吸収し、将来の自分のために活動できる時期だと思います。皆さんの進路や夢の実現に向けて様々な面で力になっていけたらと思っています。

穂積 武朋 先生 (数学)



今年度より数学を担当させていただきます。皆さんは数学が得意ですか？ 得意な人はもつと得意に、苦手な人は少しでも得意になつてもらおうと努めていくので、分からない所が出てきたらガンガン質問に来て下さい。

丸子 歩実 先生 (数学)



今年度から数学を担当することになりました。部活は女子バレーボール部の顧問をします。母校の教壇に

立てることを大変嬉しく思います。廊下などですれ違う際はぜひ声をかけて下さい。精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

稲村 良平 先生 (保健体育)



昨年度までは、福島県の公立小学校で勤務していました。六年前日大山形を卒業し、母校で教鞭をとることができ、光栄に思います。生徒達に体を動かす楽しさを伝えていきたいと思っています。

原田 祥平 先生 (保健体育)



今年度から保健体育を担当させていただきますことになりました。歴史ある日大山形で教壇に立つることを大変誇りに思います。まだまだ未熟な面もあると思いますが、生徒と一緒に成長していきます。宜しくお願い致します。

横倉 晋也 先生 (美術)



美術は、間口が広く興行き深い世界です。その深い所に「美」が在ります。悩み迷いながら、そこに近づこうと制作を続けていますが、辛くはありません。むしろ快感です。宝物を見つけに行きましょう。

高橋亜理沙 職員 (図書室)



昨年の十二月より図書室で勤務させて頂いております。日大山形の一員になれた様で大変嬉しく思います。皆さんが気持ちよく図書室を利用できるように頑張ります。宜しくお願い致します。

学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

	期 日	会場及び時間
第1回	平成26年 10月5日(日)	受付 9:20~ 9:55
第2回	10月19日(日)	説明会(第一体育館) 10:00~11:40
第3回	11月16日(日)	以下は希望になります。
第4回	11月30日(日)	個別相談 11:40~
第5回	12月14日(日)	校舎見学 11:40~12:10(予定) 部活動見学 11:40~12:30(予定)

※上記以外の期日に学校参観をご希望の方は、ご遠慮なくお電話の上ご来校ください。
 ※部活動見学については、見学参加前にお問い合わせください。
 (023-641-6631 担当/小笠原、渡部)

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入試に関する詳しい説明を致します。
 ※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

山新グループ 日大山高山新桜友会より 今年も図書寄贈



山新グループの本校卒業生による「日大山高山新桜友会」(木嶋正英会長)より、今年も図書館に本を寄贈していただいた。平成4年から始まり今年で22回目となり、図書も300冊をこえた。
 図書館には専用の書架を設け、生徒達も先輩方の善意に感謝しながら大いに利用している。若者の読書離れが言われて久しいが、これからも多くの生徒達が先輩方から贈られた本に接し巣立っていく。これからも大切に利用させていただくと共に、改めて感謝申し上げる。



最後の中学校卒業式



オリエンテーション



初めてのホームルーム



高校卒業式



入学式

フ・オ・ト・ア・ラ・カ・ル・ト



部活動勧誘の一コマ



2年修学旅行

写真提供 (株)カメラの石山
 印刷 株式会社カメラ
 URL http://www.ymgf.hs.nhon-u.ac.jp
 FAX 023-644-1663(代)
 電話 023-644-1663(代)
 〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五
 日本大学山形高等学校広報部

中学校の閉校。学園は存続しているしその一部がなくなっただけ、と言えはそれだけかもしれないが、やはり学校がひとつなくなるといことは一大事であるし、様々に感じるところがある。厳かに行われた閉校式は、多くの卒業生やかつて教鞭をとった元教員でつてはなやかに彩られていた。皆かけがえのない中学時代を同じ学び舎で過ごした思い出を共有してきている。この中学校が生みだしてきた力だと感じた。
 国家が成立する三要素は国民・主権・領土であるが、その存続の条件は国により期間により異なるというところらしい。また、企業経営理論においては、経営組織の成立条件は共通目的・貢献意欲・コミュニケーションであり、存続させるには、能力や達成度合いを指す有効性と、意欲を持続させる能率が必要だそうである。
 日大山形中学校も、その名の下に、生徒と教職員が集い、途方もなく多くの悲喜こもごものコミュニケーションがあり、存続してきた。定義したくないが、確実に言えるのは、私達の心にもこの日大山形中学校がいつまでも残るといふことだ。

編集後記